

第60回キヤンサーボード開催のお知らせ

平成22年12月1日(水) 18:00~19:00

場所: 附属病院4階第1会議室

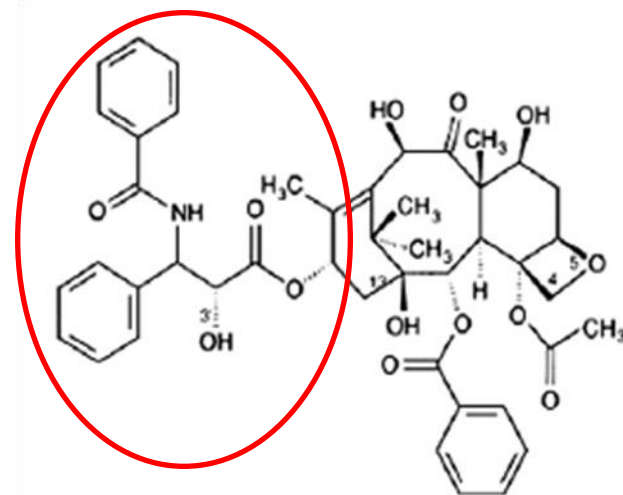
テーマ: 胃癌の1例から見る腫瘍髄伴症候群

第59回キヤンサーボード報告「タキサン系抗がん剤について」

1971年に初めて報告がなされた
微小管重合を促進し抗腫瘍効果を示す

過敏症の発現時期と症状

- ・95%が初回~2回目投与時に発症している
- ・80%が投与直後(10分以内)に症状が発現
- ・呼吸困難、腹痛、低血圧、頻脈、徐脈、潮紅、血管浮腫など



パクリタキセル

過敏症対策

- ・投与時間の延長
- ・予防的前投薬の実施: ステロイド(デキサメタゾン)、抗ヒスタミン剤(H1, H2受容体拮抗薬)

●薬理特性に基づく投与方法の開発

- ・Paclitaxelの効果は濃度より暴露時間に依存
- 10nMを長時間持続させる(*in vitro* study)

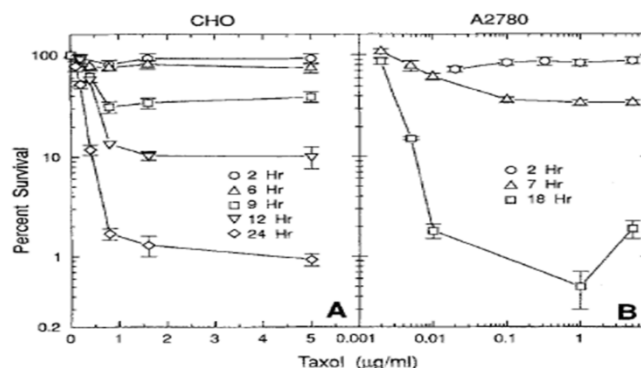


短期間繰り返し投与により暴露時間を増やす

Weekly Paclitaxelの誕生

パクリタキセルの薬理特性、Dose dense理論から増殖効果が期待できる投与方法

パクリタキセルは時間依存性薬剤



濃度ではなく暴露時間が殺細胞効果に影響する

体内動態の比較

| | パクリタキセル | ドセタキセル |
|-----------|------------|------------|
| 分布容積 | 大(>40L) | 大(>40L) |
| 蛋白結合率 | 95% | 80~90% |
| 尿中未変化体排泄率 | 約10% | 約5% |
| 消失経路 | CYP2D8,3A4 | CYP3A4,3A5 |
| クリアランス | 非線形 | 線形 |

新規パクリタキセル製剤: アブラキサン

| | アブラキサン | タキソール |
|-------|----------------------|----------------------|
| 前投薬 | 不要 | 必須 |
| 静注キット | 制限無し | PVCフリー |
| 点滴時間 | 30分 | 3時間 |
| 承認用量 | 260mg/m ² | 210mg/m ² |

今回は、42名の方にご出席いただきました。ありがとうございました。

●お問い合わせ先

がんプロフェッショナル養成プラン 岡野・川副 (内線2623)
附属病院経営企画 茜ヶ久保 (内線2807)